

補正予算

●平成24年度一般会計

平成24年度新冠町一般会計は、既定の歳入歳出予算額に2億7341万6千円を追加し、総額を52億3621万6千円としました。

《歳出補正の主なもの》

- 定住・移住促進団地工事請負費 1億2825万円
- 新エネルギー・省エネルギー導入補助金 200万円
- 節婦共同墓地取付道路舗装工事 116万円
- 新冠温泉ポイラー入替工事 1491万円
- 東町第2避難路設置工事費 2376万円
- レ・コード館屋根防水改修工事 3546万円



第2回 定例会

議会

6月12日に招集された第2回定例町議会は、同日、全日程を終えて閉会しました。今定例会では、小竹町長、辻本教育長の行政報告のほか、平成24年度の補正予算案等が審議されました。その主な内容についてお知らせいたします。

町長行政報告

開町130年・町制施行50年記念事業の実施結果

新冠町開町130年・町制施行50年という節目の年となった平成23年度は、未開の地に開拓の鋤を入れ、今日の新冠町の礎を築いた先人のご

なお、美宇及び朝日地域保育所の在所児につきましては、全員が認定こども園へ通園をしておりますので、ご報告いたします。

新冠町和牛センターの現状

昨年度から町有元神部牧野内に建設が進められておりました、和牛センターが4月11日にオープンしましたので、施設の概要と現在の運営状況を報告いたします。

この施設は、黒毛和種母牛の血統能力の一つの指標である、育種価を同一環境で飼養することで正確に把握し、町内繁殖牛の改良につなげるために、北海道が事業主体で行う「元神部地区道営草地整備事業」により整備したものであります。



▲新冠町和牛センターの全景

町民の皆さんが、数々の記念事業を通じてふるさと新冠に関する新たな発見や新冠町で暮らす幸せ、新冠町民としての誇りを感じていただくことができたとするなら、事業の目的は達成されたものと思えます。



▲青少年ファイターズ野球教室の様子

記念事業の実施にあたり精力的に検討していただいた新冠町開町130年・町制施行50年記念事業実行委員会委員の皆様、新冠町議会議員の皆様、更にお忙しい中、数々の記念事業にご参加を頂いた町民の皆様のご協力により、大きな成果を上げながら、全ての記念事業を無事終了できたことについて改めてお礼を申し上げます。新冠町開町130年・町制施行50年記念事業の報告と致します。

良促進、併せて育種価を表示しての販売が可能になることで、有利な販売が見込まれ、生産者の皆さんの所得向上につながるものと期待しております。

今後も、生産者、町農協、農業共済組合などの関係機関と連携しあい、生産者の皆さんからの負託に応えるための施設運営を行い、優良な繁殖雌牛づくりと改良を進めていきたいと考えております。

教育長行政報告

学校教育の推進

第1回定例議会において、今年度の学級編制見込みについて報告したところですが、4月1日現在において、新冠小学校4学年に2名の転入児童があったことから、1学級増となり、担任教員も1名増となりました。

また、教職員の人事異動に伴い、新冠小学校に2名の新卒教員が配置されたことから、指導教員1名の加配があり、前年度より2名の増となっております。

次に教育行政執行方針に基づく各学校の取組であります。本年度で4年目の「いきいきふる

ご存知のとおり、乳幼児期は人間形成の基礎力が養われる極めて重要な時期であり、基礎・基本的な生活習慣の習得や各年齢期の発達課題に即した学習課題解決を図り、一人一人の能力と体力に応じた愛情を根底とした質の高い保育の提供が求められております。

そのため、今後は同水準の保育と、教育やさまざまな体験の機会を平等、公平に享受でき、意図的な働きにより望ましい方向へと子ども達を導く、認定こども園にて就学前幼児を受け入れ、乳幼児の健やかな成長はもとより、家庭における養育力の向上と、そのための親支援の必要性を踏まえ、さまざまな情報提供や子育て不安を抱える保護者の支援や相談体制の充実に努めてまいります。